

教科名	音楽	科目名	鑑賞研究（2年次）【2単位】	
授業形態	講義及び自己研究形式で授業を展開			
選んでほしい生徒	音楽Ⅰを履修していなくても履修できる。鑑賞することに興味があることが望ましい。			
科目の目標	音楽作品や作曲家、演奏などについての鑑賞研究を通して、音楽に対する理解を深め、音楽や音楽文化を尊重する態度を養い、批評する能力を育てる。			
身に付けてほしい学力	音楽作品や作曲家、表現方法などを研究しながら、音楽鑑賞を行う。グループ活動などを取り入れ、音楽について批評を行うことで音楽や音楽文化に関する理解を深めることを目指す。			
学習計画	単元・教材		学習のあらまし	
	<p>【1学期】 鑑賞のオリエンテーション 拍子・調性・楽器の特徴について 西洋音楽史（古代～バロック）</p> <p>【2学期】 西洋音楽史（古典派～ロマン派）</p> <p>【3学期】 西洋音楽史（19世紀後半～20世紀）</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞の感想を人に伝えるための手段を習得する。</li> <li>バロックの作曲家及び時代背景を理解していく。</li> <li>古典派・ロマン派の多くの作曲家の個性、時代背景を理解していく。</li> <li>印象派や近・現代の作曲家の特徴、時代背景を理解していく。</li> <li>1年間の学習のまとめをする。</li> </ul>	
評価の観点・評価方法	音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
	・音楽を愛好し、鑑賞作品に関心を持ち、意欲的・主体的に鑑賞活動を行い、その喜びを味わおうとする。	・多様な楽曲を鑑賞することから各時代にふさわしい音楽表現について考察し、表現活動に活用できる能力をもっている。	・様々な時代の楽曲を鑑賞することで、多様な音楽を表現するために必要な技術を考察し、表現活動に活用できる能力をもっている。	・多様な音楽を理解するとともに作品内容・作曲者の意図を読み取り、そのよさや美しさを創造的に味わうことができる。
	上記の観点を踏まえ、授業内感想、筆記試験、提出物、授業態度等を総合的に判断し評価する。			
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 毎時間違う作品を鑑賞するので、休まないことを心掛けたい。</li> <li>2 多角的に作曲家や作品を理解し、感想においては自分なりの言葉を使うことを大切にしたい。</li> <li>3 定期考査では、学習した内容をしっかりと復習しておきたい。</li> </ol>			
教材費	924円（音楽史 教育芸術社）			
その他	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 何かの検定につながることはない。</li> <li>2 音楽系への進学を考えている生徒に限らず、音楽を愛好する生徒が履修できるような科目になっている。</li> </ol>			